

庁議事案書

日付	令和6年7月24日(水)	会議種別	政策会議
事案名称	保育所等待機児童解消対策の見直しについて		

1. 事案の概要

提案理由 取り組み内容	<p>【提案理由】</p> <p>令和2年4月に待機児童ゼロを達成した後、入園申請数は緩やかな増加で推移し、待機児童数及び保留児童数は比較的少ない状態を維持してきました。</p> <p>しかしながら、令和5年中の子育て世帯の転入超過の急増等により、令和6年4月の入園申請児童数がこれまでになく急増する状況となりました。既存施設でさらなる受け入れをしたものの、待機児童数・保留児童数ともに増加して現状のままでは対応しきれない事態となっています。今後も転入超過の状態が続いていくと考えられ、対策を講じない場合には、令和7年4月の待機児童数が県内ワーストになる可能性が十分にあります。スピード感を持って重点的に待機児童解消対策を実施し、子育て世帯から選ばれるまちを継続していくため、これまで実施してきた待機児童対策の見直しを行うものです。</p> <p>【見直しにより実施する対策の方向性】</p> <p>①ハードによる受け入れ拡大 ②保育士確保対策 ③配慮を必要とする児童の受け入れ促進</p>
審議事案等	保育所等待機児童解消対策の見直しについて

2. 行政計画等との関係

(1)茅ヶ崎市総合計画			
主たる政策目標	1.子どもが希望を持って健やかに成長し、次代を担うひとが育つまち		
関連する政策目標			
(2)その他関連計画	第2期茅ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画		
(3)関係法令	児童福祉法、子ども・子育て支援法		

事案担当	こども育成部保育課	内線	2154
関係部課			

政策会議結果報告書

1 開催日	令和6年7月24日（水）
2 件名	保育所待機児童解消対策の見直しについて
3 事案担当	こども育成部保育課
4 関係部課	
5 出席者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 副市長 <input checked="" type="checkbox"/> 副市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 病院事業管理者 <input checked="" type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席
6 説明者	こども育成部長 保育課長 課長補佐管理整備担当
7 会議結果	本案件については、提案のとおり承認される。
8 主な意見等	<p>* 幼稚園に対して預かり時間の延長等を促し、保育園の待機児童を幼稚園へ誘導できないか。【市長】 → 幼稚園の園長会で状況をお伝えし実施を促していますが、なかなか進んでいないのが現状です。</p> <p>* 幼稚園の定員に対する充足状況はどうなのか。少しでも実施する幼稚園が増えれば保育園の負担軽減に繋がると考えるが感触はどうか。【岸副市長】 → 幼稚園の利用者は年々減少している状況ですが、園長会で現場から長時間保育について難色を示す声があると聞いています。引き続き調整を行ってまいります。</p> <p>* 前向きな意向をもつ幼稚園はいるか。【塩崎副市長】 → 昨年ある幼稚園の経営層とお話した際に前向きな意向をいただいておりますが、長時間保育に対する現場の説得に時間を要していると伺っています。</p> <p>* 認定こども園へ移行し、保育所の実施を促すことはできないか。【教育長】 → 既に認定こども園に移行した5園は早々に危機感を持ち平成29年頃に先行移行しています。残った幼稚園について、移行に前向きな経営層が一部いますが、本質として教育を重視していることから説得に時間を要すると思います。</p> <p>* 保育士確保について他市と比較すると、どの部分を強化する必要がある等、担当課の想いはどうか。【岸副市長】 → 民間保育園は他市との公定価格の差から給与面で課題があると認識していますが、本対策に位置付けたICT導入補助によって労働環境の向上を図りながら、本市の保育園が選ばれる理由として最も多い「園の方針や雰囲気」をアピールしていきたいと考えています。</p> <p>* 民間保育園におけるICTの導入状況はどうか。【岸副市長】 → 一部導入している民間保育園もありますが、未導入の園もあるため、本対策のICT導入補助で民間保育園も対象とし、一斉に導入を進めていきたいと考えています。</p>

* 保育園の執務室等が手狭であるなど施設面での課題があるようだが、今後施設整備は予定しているか。【岸副市長】

→ 長期休みが取れない保育園においては大規模改修の実施が難しいことから、壊れた箇所を都度修繕する対症療法にとどまっています。

* 本対策は令和7年4月1日の待機児童0人を目指し、達成後も0人を保つためにレビューや補正予算等で継続して対策を行うが、市の財政面を考慮する必要があるため、同時に他事業のスクラップや財源調整を行いながら進めていくという理解でよいか。

【病院事業管理者】

→ その通りです。来年の当初予算分から事業の精査を行うこととし、こども育成部全体で取り組んでいるところです。性質上義務的なものも多いですが、重要な施策を見極めて精査していきたいと考えています。

* 事業のビルド&スクラップと同時に、基金の活用と、基金の積み立て額を増やす取り組みも行うように。【岸副市長】

→ 基金残額も考慮しながら、有効的に基金を活用してまいります。